

令和2年度 総合教育会議 会議録	
1 日 時	令和2年10月29日（木）午前9時30分～10時30分
2 場 所	委員会室
3 出席者	町 長 大堀 武 総務課長 泉田 晴平 総務係長 寺島 一宏 教育長 佐々木孝司 職務代理者 高崎 義典 委 員 大須賀美穂 委 員 小林 成子 委 員 田村 民雄 教育総務課長 佐藤 茂文 教育総務課課長補佐兼指導主事 荒 博史 教育総務課主任主査兼総務学校係長 黒沢 知子 教育総務課主任主査兼生涯学習係長 塩沼 亮一
総合教育会議 議事次第（司会進行 総務課）	
PART 1	本日の会議の説明（総務課長）
PART 2	町長が今年度の町行政と教育を語る
PART 3	教育委員からの意見聴取
PART 4	町長からのまとめのことば
〔開会時刻：午前9時30分〕	
寺島係長	<p>皆さん、おはようございます。ただいまより令和2年度総合教育会議を始めたいと思います。司会を務めさせていただきます総務課の寺島と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、今月1日に教育長に佐々木孝司教育長が任命されました。また、教育長職務代理者には高崎義典様が指名されましたのでご報告させていただきます。</p> <p>それでは会議に先立ちまして御出席の皆様と担当者に自己紹介をお願いいたします。</p> <p>まず、大堀武町長よりお願いいたします。</p> <p>&lt;出席者全員と担当の自己紹介&gt;</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>なお、はじめにお願いを申し上げます。</p> <p>本日は議事録作成の関係上、御発言の際には御氏名を告げていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは本日の総合教育会議の進行について申しあげます。別添の次第をご覧ください。そこに記載の通り、本日の会議を4つのPARTによって進めたいと考えておりますのでご協力をお願いいたします。</p> <p>それではPART 1に入ります。</p> <p>泉田総務課長よろしくお願いいたします。</p>
泉田総務課長	改めまして、おはようございます。

寺島係長	<p>総務課長の泉田でございます。私からPART 1 といたしまして本日の会議の説明をさせていただきます。平成27年度から全国すべての都道府県及び市町村に首長が主催する「総合教育会議」の開催が義務付けられました。会議開催の回数につきましては、教育総務課と担当間で協議した結果、平成29年度からは「年に1回、10月開催」で行うこととしております。今年度は日程調整の上で、本日招集の運びとなりました。</p> <p>さて、出席者の皆様には今年度の教育活動を中心として、町行政との関連も視野に入れて町長と意見交換を行っていただきたいと思います。</p> <p>なお、本日意見交換された内容につきましては、後日、町ホームページ上で公表する予定であります。共通理解を図り意見や内容等は、現在策定中の第6次新地町総合計画策定などを含めた「新しい町づくり」の参考にさせていただきます。</p> <p>それでは、教育委員会を招集して行う令和2年度「総合教育会議」を開催いたします。</p> <p>なお、PART 2では「町長が今年度の町行政と教育を語る。」ということで大堀町長より話しをいただきます。</p> <p>PART 3では、各教育委員の皆様及び教育長からお一人ずつ御意見を述べていただきます。その際、今年度上半期を中心に振り返りながら教育委員として、お気づきの点などにつきまして、お言葉をいただきたいと思います。</p> <p>最後にPART 4では締めくくりといたしまして、町長から「まとめの言葉」を頂きたいと考えております。よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、PART 2に入らせていただきます。町長よろしくお願いいたします。</p>
大堀町長	<p>ただいま司会から指名を受けましたので、「町行政と、教育を語る」ということでお話をしたいと思います。まず初めに本年9月末、教育長の佐々木孝司さんと教育委員の高崎義典さんが任期満了に伴いそれぞれ9月の定例会において再任をさせていただいております。お二方とも皆さんご存じの通り教育関係の経験も豊富であり、ますます教育委員会の活性化にご尽力を頂くことを期待しているところであります。</p> <p>さて東日本大震災から9年半が経過し、本年は復興創生期間の最終年度であり町の復旧、復興の仕上げに努力しているところでありますが、ハード面の仕上げは概ね出来ても漁業を含めた風評被害の払拭と震災で傷ついた町民の心のケアについては非常に難しい面があります。令和2年度の上半期を振り返りますと昨年度末から新型コロナウイルス感染症が発生し2月27日には内閣総理大臣から直接、休校要請が出されるなど非常事態となっておりました。そして学習環境を大きく変えただけでなく我が国の社会、経済活動と共に国民全体の意識の変化に悪い影響を及ぼしております。これらについては国の対応を批判するのではなく現時点で自分が出来ることを考えた対応をすることが大切だと考えております。安心、安全の為にはすべての危険因子があるうちには中止を含めた対応が正しいのか、中止をすることで経済活動を含めたいろいろな物が倒産という負の連鎖になってしまうことも、安心、安全の負の危険因子であると私的には考えておりますので、程よいバランスが大切と考えております。幸い新地町に新型</p>

コロナウイルス感染症の陽性者は出ておりませんが県内29市町村で発生し近隣市町村でも感染が見られているところでもありますので町から何時、陽性者が出てもおかしくない状況であり常に危機感を持ち続けなければなりません。もし陽性者が出た場合の町民の対応、意識の高さが問われると思っております。町行政を担う立場として予期出来ない新たな災害、目に見えない新型コロナウイルス感染症への対応として事業の継続を図るために本年度はオゾン発生装置の全教室への設置や、もしもの場合のオンライン授業のための電源キャビネットの増設を含め、図書館の図書整備、そして、マスク、消毒液、水等の確保を進めるなど町一丸となって対応を推進しております。私自身にとりましても任期の折り返しの時期であり、改めて就任当時の事を考えております。「新地の未来を共に作ろう」をスローガンに掲げ、町民の思いを反映する町行政、2つ目が地域の安心安全に努める、3つ目、次の世代に対する多くの課題の解消に邁進する、4つ目、活力があり元気が見える人と産業の姿を形成する。5つ目は魅力溢れる町づくりという少し省略をした中身ではありますが、この5項目を重点施策として掲げ「生まれて良かった住んで良かった、これからも住みたいと思える町づくりを目指して公約実現に向けて努力をしております。また、本年は第5次新地町総合計画の最終年度であり町制施行満49年、来年が50年になります。また新地村合併から66年といろいろな面での節目の年になっていると考え、そしてこの総合教育会議の設置のきっかけは大津市のいじめ問題での不適切な内容でありました。その背景には学校、家庭、地域教育への危機感や核家族化及び少子高齢化社会の対応を考えてのことと思っておりますが、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ教育委員会は執行機関であるということで、法律の改正になっております。この法律の改正により、いじめの対応で国が教育委員会に指示できることを明確化しております。さて教育関係であります、私も子育ての時期、小、中、高、大学と合わせて多くの時間をPTA役員として参画させていただいた経験から教育に関して様々な思いを抱いておりますが、このような立場で教育委員の皆さんの率直な思いをお聞きすることが出来ることは、これからの行政運営の大切なことと考えております。また町長就任以来、学校関係につきましては、通学路の歩道の設置、駒ヶ嶺地区、小川地区、岡地区等々で工事の推進を実施をしております。また、教室を含めてエアコンの設置、トイレの洋式化や給食費の軽減等を進めていますが、特に新型コロナウイルス感染症対策としては前に述べた様な事業を実施、または進行中であります。近年の教育環境における変化は非常に速く、特に町で導入していましたがICT教育が文科省のギガスクール構想により全国的に進むかと思われましたが、コロナ対応での部分で定額給付金の大幅な遅れにより日本のIT化が遅れているということでギガスクール構想の前倒し、ICTを推進して、さらには教科書をなくそうという話まで進む状況になっておりますが、ICT教育を進めれば学力が向上するような風潮があることは非常に残念ことであります。新地町は小学校の前身である共立学校、観海堂が明治5年5月に始まり、そして高校の前身である組合立新地実業学校、昭和21年4月、地域の有志の方々が教育の重要性を深く認識理解されスタートされている地域であることを忘れず、これからも教育環境の整備を推進したいと考えておりますがICT化については昨年も話をしましたがツールであることを忘れず、学習の基本は読み書きそろばんではありませんがそういったものの継続と努力と考えております。そして時間を大切にしたい子供たちの学

習意欲を育てることが大切でありますので教育関係者には学習の情報提供と子供たちが自分からやる気を出せる環境づくりを作り出す時代だと思えます。私的には子供たちが、自分で時間を大切にして学習に打ち込むための自分自身の気持ち切り替えスイッチの調整を促すべきと考えております。そして、教育は家庭、学校、地域そして行政がそれぞれ担当するエリアが必要であります。行政は教育環境の整備を最優先に担当しながら、家庭では子供の生活習慣や躰を最優先に学校は学習情報を最優先に考え地域は子供たちの安心安全のため見守りと生涯学習などそれぞれが連携しなければならないと考えますが、特に家庭における躰を中心とする学習に対する姿勢の造成という基本が大切と考えております。新地町も全国にもれなく少子高齢化の波は早いスピードで押し寄せております。町としても人口確保には油断を許さない状況でありますので、福田地区に若者定住のための住宅造成を行い福田保育所の耐震化が十分でないことから保育所の改築を予定しております。また、社会教育の場として必要と考える駒ヶ嶺公民館の建設を進めております。就任当時は次の年からということで後回しにしましたが単独事業での難しさから補助事業を模索し一年猶予が伸びたことについては申し訳ないと思っております。私といたしましては町民の思いをくんだ町民との対話を重視した、対話を通じた人と人との絆を大切にしながら新地町の将来に向けた確かな歩みを一步ずつ続けたいと考えております。以上、町長として教育委員会とともに子供たちはもちろん町民の皆さんの元気と笑顔が溢れる町づくり、人づくりを推進してまいりたいと考えておりますので、皆さんが日ごろ考えている新地町の教育活動などについてご意見をいただければと思っております。よろしく願いいたします。以上です。

寺島係長

ありがとうございました。  
 それでは、PART 3に移ります。教育委員の皆さまから御意見を頂きたいと思えます。  
 まず、高崎職務代理者様、よろしく願いいたします。

高崎職務代理者

昨年と同様、文化財関係のことになりますけども、昨年の総合教育会議におきましても、歴史などの資料や民具などを一か所に保存して整理する歴史資料館という施設の建設をお願いしたいということでお話しましたが、こちらも予算等がありますでしょうから、長い目でその方向性でお願いしたいと思います。今、もう一つ考えているのはソフト面ですが子供さんも含めた町民の方々の意識、中には歴史に興味がある方もいらっしゃいますがどちらかというと町の歴史に対して高い意識が全体的には薄れているのではないかと考えられます。町内には三貫地貝塚、新地貝塚という貴重な貝塚がありますが、今、縄文時代の研究がどんどん進んでいまして、縄文時代が私たちが学校で習った時の原始的な生活をしていた時代という意識ではなくて、もっと文明が発達していた時代なのではないかなということが最近の研究で報告されています。そういったことから史跡がある新地町の中で、それを大切にするのは当然ですがその史跡の重要さを町民全体に伝えていくことも大切ではなかろうかと思えます。そこで新地広報の中に特集のページを作ったり小冊子を作って配布して出来るだけ歴史を幅広く町民の方々に興味を持っていただくような形で、覚えていただける機会を作ったら良いのではないかと考えております。あとは、町長

寺島係長	<p>さんのあいさつの中で、新地町の歴史や場所、そして子ども達に偉人という方達についても紹介していただければ本当にありがたいと思ひまして、今回は要望と言いますと予算を伴うわけですが出来るだけ多くの方々の意識に少しずつの変化を求めるような形で少しもう一歩進んでいけたら良いかなと思ひお話し申し上げました。以上です。</p> <p>ありがとうございました。 続きまして大須賀委員様、よろしくお願ひいたします。</p>
大須賀委員	<p>私からは昨年と同様ICTの環境、整備、支援員の継続と施設の整備についてお願ひがあります。先ほど新たな災害に備えたオンライン授業の電源増設の対応を推進していくということでお話がありました。ありがとうございました。他市町村の予算の多くの課題になっているICTですが、そういったツールやデバイスは揃っているのに新地町は魅力が溢れる市町村の一つだと思います。本年度、全国ICTアワード、県内自治体で初めて受賞したということで新聞などで報道されました。町長が受賞された写真も拝見させていただきました。まず今年度新型コロナウイルスの影響で全国的に様々なところに影響を及ぼしています。学校や職場に行けない状況からリモートが大きく普及しましたが、こちらが三密回避策として全国的に必要なツールとなってしまいました。新地町も例外ではなく学校が休校となり外出を控える生活を子供たちが強いられてきましたが、ICTモデル地区としてタブレットを使った遠隔授業による教師との学習により他地区と比較しても授業の遅れも少なく学校に通えるようになってからも何の問題もなく授業が進められていると思ひます。ニュースにも取り上げられましたが子供たちにとっても勉強を中断することなく継続出来るというのは良かったと思ひます。私事ですが大学に進学した娘がおります。ここでICTを経験してきたことでリモートの授業も他地区の学生よりスムーズに進めることが出来ると話をしております。コロナ禍がいつ終わるか分からない今、今後リモートの授業は大学では特に進んでいくのではないかと思ひます。相馬でも6人のICT支援員を配置し電子黒板なども配備されるという話を聞きました。大学共通試験へのICTの活用のため、県や国でもICTを活用する方法が進んでいると聞いております。こういったことからICTモデル校として質の高い授業を見ることが出来るということで研究調査の対象になっている新地町なので、それらを支える支援員の確保が必要になってくると思ひます。予算は掛かると思ひますが是非よろしくお願ひいたします。最後に先ほど申しました施設の整備ですが総合体育館の一部で雨漏りがあり立ち入りできないところがあるなど小中学校を含めたいろいろな施設での老朽化が進んでおります。町の駅前が整備され宿泊設備も完備された今、これから町の外から多くの方が町を訪れるようになるかと思ひます。そういった人々が、もちろん町民も含めて安心安全を確保出来る施設の改修など、こちらは大変予算が掛かることだと思ひますが、ぜひよろしくお願ひいたします。以上です。</p> <p>ありがとうございました。 続きまして、小林委員様、よろしくお願ひいたします。</p>
寺島係長	寺島係長
小林委員	まず、先ほど大須賀委員からもありましたICTアワードの受賞、大変おめ

でございます。こういったニュースを聞きますと新地町が注目されるというのは住んでいる私たちにとっては嬉しく誇らしいことの一つだと私は考えICTへの取り組みが評価されたということは新地町にとってはとても大きなことではないかと思っております。また皆さん「ふくしまショー」という番組があるのをご存じでしょうか。各市町村の名所、食べ物や人などをランキングで紹介する番組なのですが、その番組のように新地町の1位になるものを考えた時に、私の意見ですが海があり山があり自然豊かな新地町ですがいろいろ挙げるものはあると思いますが、私の中ではこれといったものが思い浮かびませんでした。新地町の1位というものを作るために今までいろいろな施設を作ってまいりました。海釣り公園、パンプトラップ、交流センターなどの施設を活用し、活動をPRすることがまず大事なのではないかと考えました。またこういった施設を利用するために各施設にあったコーディネーターまたはインストラクターを配置し、そういった方々による企画運営を町がスポンサーになり大きな大会を開催したり、またパンプトラップにおいては、チャンピオンあるいは世界チャンピオンを育てるというのも一つの夢ではないかと考えました。またそういった活動を子供たちが目にする中で、自分も目指してみたい、やってみたいという希望を持ち将来を見ることが出来るのではないかと考えています。また交流センターにおいても交流センターを起点とした活動を支援するのも一つの方法ではないかなと考え、これも予算が掛かることですがぜひ、子供たちの未来を多方面で見るといのが大切ではないかなと考えますので、ぜひ考えていただきたいと思えます。継続するということが、続けば歴史が出来るということになると思えます。新地町においてこの歴史というものはとても大切なことですが住んでみて果たして歴史を考えた時に私の認識不足かもしれませんが、これとって浮かばないというのが現状で、これはやはりPR不足というのも理由の一つではないかなと考えます。そのPRの面で駅からちょっとパンフレットを持って来たのですが新地町紹介ということで3つのパンフレットがありました。開いてみますと、とても新地町をよく紹介しているのですがやはり具体的な細かいものが見れない、今このICTを活用した新地町が評価されている中で、やはりこういった紹介をもっと出来るのではないかと考えております。子供たちが学習の中でタブレットをかざせば、その地域のことが分かるという動画を作成したのを見ってきました。それは新地町にも応用出来るのではないかと考えまして、やはりパンフレットにQRコードを活用し新地町をぜひ大きく紹介できるようなものが作ればと考えております。そういったパンフレットで紹介するものを個々に紹介し、そして一つに集約することにより具体的に新地町を知ることが出来るのではないかと考え、やはりそういったパンフレットを子供たちの意見を取り入れて作るというのも一つですし、そういった形で町としてICTを活用したPRをしていただければと考えます。それが今回、私からのお願いと意見ということでお話をさせていただきました。以上です。

ありがとうございました。

寺島係長

続きまして田村委員様、よろしくお願いたします。

田村委員

昨年10月1日に辞令いただきまして、はや1年という形になりました。昨年、お願いしていた歩道について町長さんや皆さんからよくしていただ

き新地の保育所下からNTTの中継地のところも幅広くしていただきました。あと新地高校からあぐりやさんの所のU字溝等の設置そして道路を広くしていただきたいとお願いした所も完全に広くなりました。御礼申し上げます。ありがとうございました。付け加えて福田地区の三滝川の6号線の下の河川がよく氾濫して、今回も工事中という形になっておりました。私もちょっと気になりまして実際に行ってきましたが、6号線を渡るには地下道を通って行くと思うのですがロープが張ってありました。工事場所からちょっと離れているものですから、どうして子供たちをカード下を通らせないのかなと思いました。もしかすると管理が相双建設事務所になるのでしょうか。町から要望して出来るだけ子供たちにリスクのない安全なところを通れる形にしていれば良いと思います。おそろく通学対策委員会があると思いますので、そちらにも要望していただいて良い方向に持っていただければと思います。もう一つが小林委員からもお話ありましたが私も気になっていたのがパンプトラック施設です。こちらは町民の健康や地域交流、他地区から利用者で町の活性化に寄与しているということは私は実際に人が来るのを見てきました。私は特に新地町の子供たちが国際競技に対応したコースで体験することで自分の能力に目覚めチャンピオンを出す町も夢ではないかなと思っております。付け加えてそこを利用する方々の食事や休憩するためにキッチンカーなど例えばバスを改良した形で土日とか人の多い時に動かして、そこに賑わって利用していただければ利用者も助かるしキッチンカーを運営する方も一つの利益になり、商工会そして町の活性化にも繋がると思いますのでそんな風にしていただいて、特に日本全国から見ても素晴らしいコースがありますので、前向きに検討していただければということが私からのお願いです。以上です。

ありがとうございました。

それでは、最後に佐々木教育長、よろしく願いいたします。

寺島係長

佐々木教育長

学校教育と社会教育と家庭教育とあるわけですが学習指導要領も改訂されて、来年度5年目ということで、教科書が今年から小学生が改訂になります。そこには新地町の先導的なICT、先ほど小林委員から出たQRコードも教科書全部に入っております。それと来年から中学校が全面的に変わります。そういった面では活用してしっかり授業出来る、一番はやはり学校は教師力だと思いますので先生方もそれで力を付けていただいて生徒の将来をしっかりとした自立の出来る子供たちに知恵を付けてやりたいと考えております。道徳や英語などが教科に入りましたので多忙ではありますが、やはりそういった中で生徒の力を付けることが大切になります。道徳の中ではやはり核家族が多いので中々難しいのは躰までいかないという家庭が非常に多いということは事実でございます。ですから、その面を学校教育からも踏み込んでいかないと難しいだろうと、幸い新地町では「ちから」という雑誌を作っていただいたりICTに関しても支援をいただいたりして非常に良く出来ております。今回もすでに視察に来ておりますがこれからも北海道はじめ静岡県や他県また、隣の宮城県からも視察に来る、コロナの影響がありますので人数は多くは駄目ですよということで制限はしておりますけども、ぜひ見たいと全国で賞いただいたことの評価があったのかと思いますので受け入れて意見も頂戴したいと思っております。それが1点

目。2点目、やはり社会教育部門、公民館活動ということになりますけども、やはり新地町の名前を県内もしくは日本全国に世界にという形で広めていきたいと、良い点はやはり出していきたいとしますので先生方をお願いしてあるいは公民館にもお願いしているのですが常に記録を取ること、メモ、文章にしておくということで、取材に来ない時にはマスコミ関係にも送っております。マスコミも良いとしたものを出すわけですからこれも外部評価だと思っております。やはり先生方や役場の職員にもこういったことをしていかないと名前が売れないという危機意識を常に持つような方法でやっていくということを常々呼び掛けているところでございます。そういったところで外部発信をして評価をいただいて改善していく形で前向きに取り組んでおります。あるいは様々な学校間の要望、社会教育の要望があった場合には教育総務課の中だけで留めておくのではなく、やはり町全体で考えてもらうような、一つのスタンスを作って総務課や建設課に相談したりという、今は健康福祉課、学校教育、子供のことを相談したりする場合は非常に多いわけですけど、今まではそういった連携がありませんでした。町民課と学校教育と健康福祉と3つが今、連携がようやく図られ、保育所とも連携が図られて機能しているという形なので大変嬉しく思っております。ですから小学校全体にとってみても小学校は学力だけが問題ではないですが学力は少なくとも相馬地区あたりではトップに躍り出ているということですので、問題は中学校では不登校がありますが努力しているところでございます。以上でございます。

ありがとうございました。  
それではPART3を終了させていただきます。

寺島係長

寺島係長

それではPART4に移りたいと思います。  
本日の会議の締めくくりといたしまして、町長に感想を交えながら、まとめの言葉をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

大堀町長

はい。それぞれご意見いただきました。文化財につきましては私も町の歴史を知らないで町を出ていくのは非常に寂しいと思っております。私自身がそうだったという反省の念もありますので、ぜひ歴史のことについては今後、教育委員会を中心にパンフレットの整備も含めて実施をしていきたいと思っております。また町は、相馬藩、伊達藩を含めた政争の地であり、そういった中で歴史は古いとは言いつつも残っている書類が非常に少ない。そういった状況もありますのでまずは町内の偉人と言われる方、そういった情報を収集しながらあるいは町内の画家と言われる方々、まずはそういった手始めに少し出来るところから私的にはやっていきたいと考えております。ですから駒ヶ嶺公民館跡地を何とか活用出来ないかということで、今、私個人的には考えて職員には指示しております。そういった部分で歴史あるいは偉人等の功績の部分をとという思いで整備を駒ヶ嶺公民館建設が終わってからと思っております。それは新地町は財政的にはもしかすると不交付団体になるのではないかとと言われてはおりますが、だからといっていろいろなものに余裕がある状況ではないということがございますので計画的に整備はしていきたいという思いであります。高崎委員から言われたように町長も挨拶の中に入れると良いということもあります。出来るだけ私が自分で理解した中でお話をすれば良いと思っておりますが中途半端な知識

でやりますと逆風が来ますので、それらを踏まえながらやっていきたいと思っております。今、三貫地貝塚の部分では三貫地貝塚に人骨の復元をして展示をするということで、教育委員会が動いてくれました。今年度中には完成してもらわないと、私も2年が経つので、そういった中身で進むかと思えます。あと三貫地貝塚から出た面についてもやりたいということで今、進めているところでございます。

2つ目の大須賀委員の部分、いろんな部分でICTについては言われております。そして支援員の方も、これはICTアワードの部分でそういった支援員の部分もあったのかもしれませんが、3月に東京に行って自民党の部分でICTについて話してくれと私的にはICTを良く理解していないからお断りはしてはいたのですが、どうしてもということなので教育委員会、指導の中で私行ってきて国の方にもICTを進めるのであれば支援員をかなり多く配置していただかないと、小さな町では出来ませんということでやってきておりますしギガスクールがかなりの部分で前倒しになっていることを考えればそれらについても当然、教育長が個別に一生懸命、奮闘していますので、それに私は期待しているところですが、そういった確保をしないと難しいのではないかなと考えておりますので今後もそれらについては考えていきたいと思っております。あと総合体育館も含めて駒ヶ嶺公民館、駒ヶ嶺小学校もそうですが雨漏りを含めていっぱいあります。やはり建物はシンプルに作らないと、あのような結果になるのだろうと私は思っておりますが、それらについても今、改修工事をしながら進めていきたい。それが先ほど私の語りで言ったと思いますが、行政がそういった施設整備を含めた環境の整備をしていくんだということでもありますので少しずつではあります、ただ優先順序を持ちながらやっていきたいと考えて今後も続けていきたいと思っております。

小林さんの部分について福島の歴史のPRということで本当は駅前に東京大学が来ていました。ドローンを活用しながら、今までは我々目線でしかなかったのですが、いろいろな目線の中でやっていただけたらと思うのであればこのコロナ禍で東大の人はほとんど来ていないということで非常に残念であります。今後もそれらについてはPRは観光にも繋がりますので行っておきたいと思っております。

そして田村さんの歩道の設置の部分で福田地区については6号国道に実は地下歩道というのは昔は埴浜から来た地下歩道があったと思っておりますが、あの地下歩道は非常に危険な部分で小川にもありますが、6号の地下ということで非常に歩道とは言い難いですが、そういった部分は、やはりいろんな危険性を伴いますので、なるべくそういうのを回避出来るような部分にしていきたいと思っております。そしてパントラップについても、日本のトップクラスの施設であります。そういった中でコロナさえなければ全国大会、国際大会をとということで職員も準備をしていたのですが、このコロナの中で出来なかったというのはありますので今後ともそういった部分に務めていきたいと思っております。食堂の部分については今後とも努力をしていきたいと思っております。そういった中で私以上に教育に関しては佐々木教育長が詳しいので、意見を聞きながら町として予算的に教育行政ではこのぐらいかとかそういった部分で各分野ごとのバランス、あとは地域ごとのバランスなどを考えながらやっていきたいと思っております。歩道については新地を抜けて駒ヶ嶺に行くところは今、どんどん進めておりますので、子供たちの安全確保ということでの努力は今後もしてい

く。将来的には少し準備はしておりますが駒ヶ嶺の交差点、死亡事故が起きたところも今、私の中では職員に指示をしながら少しずつやっているということで、ただあまりすぐは期待しないでほしいと思います。これはやはり大きな予算が伴う、国と調整をしながら、補助もないと単独では厳しいというのがありますので、ただそのようにそれぞれ頑張っていきたいと考えておりますのでよろしくお願ひしたい。そして交流センターの部分は皆さんに活用していただかないと、せっかく作ったのになんだらうという話にもなる。今回11月2日に町としては初めて活用します。そして11月28日には駅周辺の整備がほぼ完了したので復興創生の区切りとして、そして新たな部分に挑戦していくためのスタートライン的なことで竣工式を実施していくことで考えております。その中で一部の人には仙台フィルを呼んでほしいなどいろいろな意見がありました。11月28日は自衛隊の音楽隊が来て演奏することになっております。そして全国から町でお世話になった方々にご挨拶をしていきたいと考えてあります。そういったことで今日の会議だけではなくいろいろなところでご意見いただければ私としても一生懸命やりたいと思います。ただ教育委員会だけではないので何十項目と要望されてもなかなか難しいのでそれを実施するために分かりましたと言えるように絞ったものでやってもらえると私的には助かります。ぜひそういったことで町長室のドア開けておりますのでいつでも来ていただいてお話をさせていただければと思います。今日の会議は終わりにしたいと思います。

寺島係長

ありがとうございました。

皆さまから本日の内容についてご質問等ございますでしょうか。

皆さまからのご意見等、ご質問等なければ最後に総務課長より事務連絡を申しあげまして、「総合教育会議」を閉じさせていただきます。

それでは、総務課長、閉会の言葉をよろしくお願ひします。

泉田総務課長

教育委員の皆さま大変貴重なご意見いただきました。ありがとうございました。閉会の前に事務連絡を申し上げます。来年の「総合教育会議」についてであります。定例会としては今年度と同様に年1回、10月開催で予定をさせていただきます。

後日、年度の日程につきましては教育総務課と協議をしながら皆様に通知をさせていただきます。

それではこれをもちまして令和2年度「総合教育会議」を閉会といたします。

本日はありがとうございました。

(10時00分会議終了)